

町民と議会をむすぶ

町議会 だより

【6月定例会】

施政方針及び諸事の報告 …… 2～3

委員会審議

文教経済常任委員会 …… 4～5


総務厚生常任委員会 …… 6

一般質問 5人が登壇 …… 7～9

 池田町

VOL. **26**

令和5年8月15日発行



新庁舎・図書館建設に向けて、今年度から町産木材の調達が始まります。木材は、木望の森100年プロジェクトを推進しながら町有林等から搬出されます。地元町産材をふんだんに使用することで、町民の皆様に親しみやすい庁舎づくりを目指しています。

(写真は作業のイメージです)



完成イメージ図

委員会・全員協議会で審議

新庁舎・新図書館建設事業

図書館・公民館を含む新施設を、あらゆる世代が集い交わり合いながら利用できる場。地域住民自らが幸福を創造し、池田町を未来へとつないでいくことを支援できる場とすることを目的とした建設プロジェクトとして実施していく。

施設建設スケジュール

令和5年5月	基本設計完了
令和5年7月	実施設計(～令和5年度末)、木材調達開始(～令和6年) 新庁舎図書館建設町民委員会
令和5年9月	ブックアンドコミュニティセンター「ツドエル」オープン(旧開発センター)
令和5年10月	町有林からの木材伐採開始
令和5年12月	交流会館解体工事(～令和6年)
令和6年	バイオマス施設建設工事着手(～令和7年)
令和6年10月	新庁舎建設工事着手(～令和8年)
令和7年	バイオマス施設竣工・運用
令和8年10月	新庁舎竣工
令和8年11月	新庁舎運用開始



施設の特徴

- (1) 地域の風土と調和した伝統建築様式として、木造平屋・瓦葺。一部、鉄筋鉄骨を使用。延べ面積3200㎡。ホールは耐火構造。構造用木材は町産材で賄う予定。
- (2) 多目的・重層的利用可能な施設として、様々な活動が出来るホールを整備し、図書館、公民館、庁舎を複合化させる。
- (3) 地域材を最大限使用した木材調達として、中規模木材建築へ向けた町産材供給づくりを考える。今回は建設業者へ一括発注ではなく、材工分離発注方式を実施。
- (4) 地域材の有効利用のモデルとしての施設整備にむけ、木材製造の促進や端材の活用も考える。構造材840㎡などをはじめ、町有林から伐採を実施。これらの材はR5～6年度に調達(伐採)。R7施工。R8完成予定。
- (5) 脱炭素実現に向けた先導先進地実証事業では、バイオマス熱エネルギーの最大利用を検討。脱炭素実現に向けた脱炭素中核施設としての機能施設を整備。総事業費は総額36.6億円。自己負担14.1億円。

町土整備課長
必要となる構造材840㎡、それ以外が360㎡の木材が必要。この内、柱材が130本必要。人目に触れる箇所は全て町産材とするため、木望の森プロジェクトと連携して、委託を実施したい。R5～6年の2ケ年で調達する。

佐野議員 庁舎建設費が思った以上にかかっている。積立もあるが、自己負担14.1億だが賄えるのか。
副町長 起債措置もあり、賄える予定。
岡村議員 庁舎建設に伴い木材調達委託3100万円を計上しているが、具体的にどんな中身か。

【質疑応答】

6月定例会



町長施政方針及び諸事の報告

「仮称：子育て応援戦略方針」の作成

政府の方針内容や事業概要を受け、池田町としても、これまでの子育て支援事業や教育支援事業について検証するとともに、国や県の事業計画との連動を図り、池田町としての(仮称)子育て応援戦略方針のようなものが作成できればと考える。

「第3弾 家計応援事業の実施」

燃料費、電気料金と値上げが続き、長引く物価高は町民の暮らしに大きく影響を与えていることから、第3弾となる家計支援として、国からの支援も活用し、町民の高校生以下の方、および65歳以上の方については、一人2万円を、その他の町民の方には、一人1万円を支給するもの。また住民非課税世帯に対しては、更に3万円を追加支援しようとするもの。



主 なる 事業

- 物価高騰の影響を特に受ける、低所得の子育て世帯に対して国の給付金を給付……………101万円
- 冠山峠道路や板垣坂トンネル開通により、防犯対策を強化するため、町への入口5ヶ所に防犯カメラを設置……………136万円
- 新庁舎・図書館建設事業の実施設設計費および木材事前調達事業……………1億4410万円
- 太陽光発電と融雪の両立が可能な融雪機能付太陽光発電実証工事をあそびハウスの屋根に設置……………1540万円
- いけだ応援券発行事業および定額給付金給付事業……………3775万円
- 物価高騰への対応として 住民税非課税世帯等臨時特別給付金……………767万円
- 町道稻荷 一 月ヶ瀬線狭隘区間改良工事……………1600万円



文教経済常任委員会審議

委員長 松井靖明
副委員長 富田重弘
委員 佐野和彦 宇野一正
岡村 祐 清水龍司

繰越予算について

●地域分散型町営住宅建設事業費4249万円。建築工事・外構工事を繰越。

〔質疑応答〕

富田議員 地域分散型住宅の今後の予定はどうか。

町土整備課長 使用する木材加工中。間もなく組み立てが始まり、高気密高断熱の内装・外装工事に入る。秋に完成予定。

- 新庁舎図書館建設事業費3752万円。新庁舎の基本設計業務と木材調達支援業務は完了している。
- 池田清水谷地区農地高度化利用促進事業8100万円。
- 池田中部地区経営体基盤育成支援事業600万円。これは県へ支払う池田町の負担金。
- 経営構造対策事業（あぐりパワーアップセンター）553万円。攪拌装置の電気設備更新。

●公共土木施設災害復旧費で町道東保一魚見線の災害復旧1090万円。

木望の森づくり課

●ウッドラボ塗装室排気装置設置事業394万円。塗装室の換気するための工事。電子機器の納入が遅延し繰越となった。

農村政策課

- 道のオアシスフォーシーズンテラス整備事業2億7000万円。
- ツリーピクニックアドベンチャーいけだ拡張整備事業780万円。木製遊具、案内看板、ホームページなど整備するもの。
- コベンチャーパークグレイドアップ追加事業4800万円。海外製の大型遊具設置費。
- 新保ファミリースキー場用地購入費484万円。9月末に名義変更・購入予定。

一般会計 補正予算について

町土整備課

●新庁舎建設の基本設計の完了を受け、実施設計業務や木材調達に取り組むため、新庁舎図書館建設事業費1億4410万円を計上。

〔質疑応答〕

岡村議員 木材調達委託3100万円を計上しているが、具体的にどんな中身か。

また林業振興費の地元大径材利用実証事業130万円は。

町土整備課長 必要となる構造材840m、他360mの木材が必要。町産材で柱材が130本必要。R5～6年の2ヶ年で計画。地元大径材利用実証事業では1000mを伐採予定。

●水道費330万円。簡易水道特別会計への繰出金となる。

●農地費1408万円の減額。内訳は①～④のとおり。

①業費減額により国県補助が2600万円減額。

②水海土地改良の設計業務委託料700万円を増額。

③工事費で農道西部線140万円を増額。

④水海畜産基地付近の水路修繕費310万円増額。

●町道稲荷一ヶ月瀬線の道路拡幅などの道路改良費600万円を計上。新たな除雪基地建設などで1000万円を計上。

●下水道費20万円を計上。下水道事業特別会計への繰出金。

●災害復旧費200万円を計上。町道東保一魚見線の現場が急傾斜で狭いため、その改善費。

木望の森づくり課

●ウッドラボ塗装室排気装置設置事業394万円。塗装室の換気するための工事。電子機器の納入が遅延し繰越となった。

農村政策課

- 道のオアシスフォーシーズンテラス整備事業2億7000万円。
- ツリーピクニックアドベンチャーいけだ拡張整備事業780万円。木製遊具、案内看板、ホームページなど整備するもの。
- コベンチャーパークグレイドアップ追加事業4800万円。海外製の大型遊具設置費。
- 新保ファミリースキー場用地購入費484万円。9月末に名義変更・購入予定。

農村政策課

●畜産費77万円。牧場への通行規制を行うため、牧場管理道の起点近くにゲートや駐車場を整備するための経費。

〔質疑応答〕

宇野一正議員 部子山の通行規制工事は、今年やるのか。

農村政策課長 実施したい。なお、登山者は歩いて通れる。緊急車両や地元関係者の方は、通行可能とする計画。

●観光開発費558万円。国道417号の狭隘区間の改良に伴う飲泉管の移設工事費と飲泉井戸の洗浄費を計上。

●新産業開発費482万円。コベンチャーパーク内の立木約120本の安全対策費。斜めネット、ロープ渡りなどの改良費、誘導ネットの安全対策費も含む。



▲開発センター改修工事の様子



教育委員会

- 開発センターを仮設図書館と教育委員会事務局に改装する経費3074万円。
- 子ども園バス置き去り防止事業18万円。

〔特別会計〕

町土整備課

- 簡易水道事業施設管理費1532万円。浄水場の電気機械設備更新と角間地区の管の調査を現在取り組んでいる。
- 下水道事業施設長寿命化事業費2545万円。水処理センターの汚泥処理槽の耐震診断業務費。
- 農業集落排水事業では、持越の舗装に伴うマンホール蓋の高上げ費196万円。



▲コベンチャーパーク内、きのこの森の遊具

教育委員会

- 事務局費250万円を計上。ブックアンドコミュニティセンターツドエルの事務所用の什器類購入費。
- 文化財保護費80万円を計上。寺谷地区西光寺の文化財である阿弥陀像の修復工事関係費。

〔質疑応答〕

宇野一正議員 教育委員会のツドエルでも使用する什器類は、新庁舎でも使用する物を購入するのか。

教育委員会事務局長 新庁舎を考慮して什器を揃える訳ではない。今後、使える物だと判断した場合は新庁舎でも使う。



▲コベンチャーパーク出入口付近の様子

木望の森づくり課

- 原材料費100万円を計上。コベンチャーパーク遊具開発の材料費でウッドラボ商品カタログ作成経費20万円を計上。

簡易水道事業予算 について

町土整備課

- 歳入および歳出に330万円を補正。西角間・東角間・定方の消火栓を修繕するもの。

総務厚生常任委員会審議

委員長 丸石純一
副委員長 清水龍司
委員 宇野邦弘 松井靖明
富田重弘 岡村 祐

繰越予算について

●妊娠届時に5万円、出生届時に5万円、計10万円を給付する出産子育て応援給付金90万円。国庫支出金57万円、一般財源15万円。

【一般会計】

総務財政課

●9月上旬に移転する教育委員会会のネットワーク構築事業に50万円。

●水海小水力発電への補助金繰越3020万円。国庫補助2000万円、一般財源1020万円。

【質疑応答】

宇野邦弘議員

水海小水力発電の繰越原因は何か。

総務財政課長 元々の整備計画が2ヶ年であり11月の完成時に支払うことになっている。

太陽光パネル設置し融雪と発電の実証実験

●広報用のプロモーションビデオを作成する文書広報費80万円。

●町民が効果を見やすい、あそびハウス屋根に太陽光パネルを設置し、発電と屋根融雪を兼ねた実証実験に取り組む事業に1175万円を予算計上。

【質疑応答】

富田議員

太陽光発電機器の寿命はどの程度か。また買取価格はいくらか。

松井議員 雪が一気に落雪しないか。

清水議員 寿命は、パワーコンディショナーという太陽光を電力に変換する機器が15年程度。

総務財政課長 パネルの寿命は、20年程度。今回の計画は20年間の稼働を見込んでいる。売電価格は1kWhあたり12円。また落

町独自の家計応援第3弾

●いけだ応援券発行に47万3千円。町独自の家計応援第3弾として、定額給付金事業費3727万円余を計上。

保健福祉課

●家庭の事情等により子どもさんを一時的に預かってもらう事業として45万7千円。

【質疑応答】

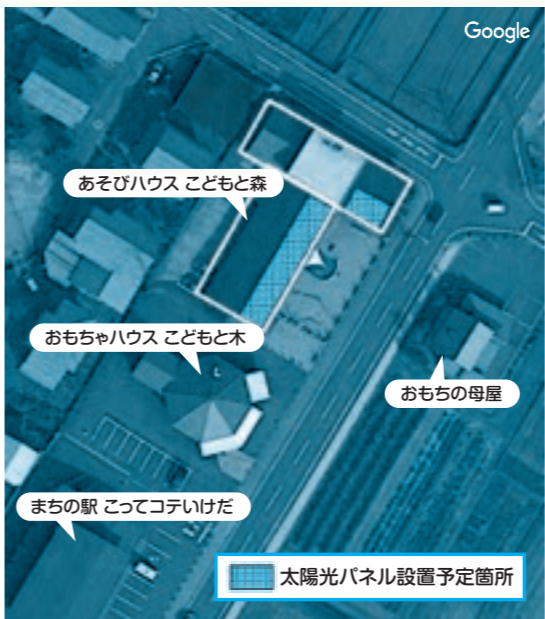
宇野邦弘議員

施設に預かってもらううえで児童相談所の関係はどうか。

清水議員 利用すると、個人負担はあるのか。

保健福祉課長 児相との連携は無い。越前市や鯖江市の施設は定員の関係で受け入れは困難と思われるため、登録されている里親に依頼する予定。

非課税世帯か課税世帯かや、子どもの年齢により負担額が定められている。



▲融雪機能付太陽光パネル設置予定のあそびハウス

一般質問

いっばんしつもん

農地取得の条件は

問 この4月から農地法の農地取得時の「下限面積要件」が撤廃されたが、農地を所有していない方で新規に所有したいという方への対応はどうなっているのか。

答 農地とは「生産の基盤であり、現在から将来における国民のための限られた資源」との観点から、今後も農地を有効的に利用するか、必要な農作業に常時従事するかなどを、しっかりと審査し判断する。

生ごみ回収量を増やす努力を

問 生ごみ回収量が年々減っている。燃えるゴミは増えているが、ビニプラの回収量は減っているのか。



宇野 邦弘 議員

る。生ごみ回収など分別回収への周知徹底が求められているが。

答 生ごみ回収量も堆肥生産量も減っている。堆肥生産量の減は生ごみ回収量が減ったことだけでなく飼養頭数の減少が大きく影響している。また町民同士の声かけや率先行動も必要と考えている。

問 かつて960億円といわれた本体と水海川導水トンネル事業費。4年前に1300億円になり、今回2500億円にも膨れ上がった。県の負担も600億円になる。

答 足羽川ダムは大雨の時に以外は水を溜めない流水型ダムのため普段は導水トンネルもダム本体も無用の長物。ならば、ダム本体や水をためる所を自然に親しむ憩いの場としての有効活用できないか、まだまだ先のことが今



から国との折衝を。

さらに3本の導水トンネル掘削などの長期計画の事業費は8年前時点で1460億円。これまた大きく増えることは明らか。治水効果も疑わしい長期計画はこの際キツパリと断わるように。

答 足羽川・割合川・赤谷川の導水トンネルについては、今後20年から30年で工事を行う河川整備計画には登載されていないので答えられない。ダム事業区域内の有効活用については慎重な検討が必要であると考えている。

その他、新庁舎の町長室を開かれたものにと求めました。

里山オフィスとは何か

問 池田町過疎地域持続的発展計画を元に令和7年度までに地域振興策を実施すると示されているが、本計画に記載されている里山オフィス整備とは何か。

答 里山オフィスとは「繁忙期の人材確保」「通年雇用できる仕事の創出」「移住定住の受け皿づくり」等を目的とした特定地域づくり協同組合の立ち上



丸石 純一 議員

げと、その拠点づくりを想定している。特定地域づくり協同組合とは、地域内外の若者等が季節ごとの労働需要に応じて複数の事業者の事業に従事できる形態、いわゆる「マルチワーカー」として働けるよう、安定的な雇用環境と一定の給与水準を確保した職場を創り出すための組織であり、地域人口の急減に対処するための特定地域づくり事業の推進に関する法律を根拠として、特別交付

税の措置もある仕組みとなっている。

協同組合の事務所としては、旧武生高校池田分校校舎が一部取り壊しの上、県より譲渡されること概ね決まったので、校舎の有効活用策としても検討したいと考えている。

その他、池田町過疎地域持続的発展計画（令和3〜7年度）について、冠温泉について、道路環境の変化と周知についてを質問しました。



▲旧武生高校池田分校



清水 龍司 議員

離職・退職者について

「労働環境改善」「パワハラ」「風通しの悪さ」「慣例」などがあると耳にする。

役場や第三セクターでも労働環境改善を求める声がある。「上司のパワハラ」「企画がツルの一声で消される」「危険性の指摘をしても無視」「子育てしながら仕事ができる環境を整えられない」「社員が仕事中ゲームをしているのに上司が指摘しない」など複数の話を聞いた。



再生可能エネルギーの今後に向けた取り組みについて

池田町においては、令和4年4月に2050年までに二酸化炭素排出ゼロを目指す「能楽の郷池田町脱炭素宣言」をされた。そして、新庁舎には地域資源を活用したバイオマス熱利用の実践をされると聞いている。二酸化炭素排出ゼロを目指すには、更なる再生可能エネルギーの促進が不可欠となる。専門家の調査によると、池田町では地域資源である豊かな水を利用した小水力発電に適した場所が水海地区で建設中以外にも数か所あると聞いている。池田町として今後に向けて再生可



富田 重弘 議員

結果、昨年度不満を抱き多く辞めた。第三セクターは町が出資している企業。離職に対してどう感じているか。役場や第三セクターの離職・退職原因をどのように認識しているか。

毎年、定年前の離職が数名ずつ発生している。また離職・退職理由は面談し聞き取りを行っている。担当課長による面談も年数回やっており、ストレスチェックや気になる職員がいれば声掛け、カウンセラーによる面談も行っている。第三セクターの状況は、役場とは別組織のため答えられない。

森林観光客書について

全国どの山間部でも「観光客減」「獣被害」「管理しきれない森林」に悩まれている。間伐の際に必要な、木材の搬出のための林道を、

再生可能エネルギーの取り組みとして小水力発電など町全体に普及させ活用していくという計画はあるか。

小水力発電については、昨年度、池田町脱炭素実現ビジョン策定の際、全国小水力利用推進協議会代表理事も務める富山国際大学の土坂教授に協力いただき、小水力の導入が見込めるエリアを調査した。その結果、現在水海地区で建設整備されているもののほか、議員ご指摘のとおり割谷川や足羽川本流・水海川など3ヶ所では可能性があるという風に考えている。他にも籠掛川で可能性調査を行っている民間業者もある。池田町は、水源の町として小水力のポテンシャルが大きいところであるが、発電所整備にコストなどは小さくないことから、可能性・経済性調査において、町として積極的に取り組むべく、

山歩きコースとして再活用する。

コースを歩く観光客が増えれば獣の往来が減り、獣害対策にもつながる。また、山歩きの観光客に終着点に温泉や道の駅があり利用して貰えば、外貨を稼ぐきっかけにもなる。計画的に林道整備が「獣害対策」「観光客増」の3つの課題を同時に解決出来る可能性がある。



間伐後の再活用

一般質問

いっばん しつもん



夏・秋を用途に補助による調査事業の応募を考えている。



岡村 祐 議員

道路沿いの景観整備について

台風など、強い雨風が吹く度に、道路沿いの木の枝葉が落ちて道路が汚れたり用水が詰まったりと、集落や農家さんが管理する上で非常に負担がかかっている。これらの道沿いの木は、道路や建物、電線に近いため個人で管理するには困難で、手つかずのところが多く見受けられる。町ではこれまで、県補助事業を活

用しながら各集落の山ぎわ間伐整備をされてきたが、今年度からは町単独の事業になる。例えば道路や用水路は皆伐して整備するなど、より効果的な方法で力を入れて着実に事業を進めていただきたいが、今後の事業の見通しはどうか。

また、これから観光道路として景観美化という面でも、池田町の田園風景を守っていくために景観条例を制定すると聞いている。農地だけでなく林縁部を含めて総合的視野で検討していただきたいが、町の政策としてはどのように考えているのか。



▲道路沿いの樹木の様子

令和5年度は町単事業の里山景観再生事業で、条件の整った集落に対しては、木望の森100年プロジェクトの山づくり、山の保全と合わせて、山の景観づくりも視野に入れた制度設計についても検討したいと考えている。また今年度中に冠山峠道路の開通や北陸新幹線の開業が予定されていることから集落間での道路に面した通行支障木となる危険木が連続してある区間については、道路管理者と地区で協議して整備を行っていきたいと考えている。



▲小水力発電建屋



▲小水力発電取水口

5月臨時会 (令和5年5月10日開催)

- 議案第30号 専決処分の承認を求めることについて(専決第2号池田町町税条例の一部を改正する条例)
- 議案第31号 専決処分の承認を求めることについて(専決第3号 原子力発電施設等立地地域の指定による町税の特例に関する条例の一部を改正する条例)
- 議案第32号 専決処分の承認を求めることについて(専決第4号 池田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)
- 議案第33号 令和5年度 池田町一般会計補正予算(第1号)
- 議案第34号 令和5年度 池田町国民健康保険診療施設特別会計補正予算(第1号)
- 議案第35号 監査委員の選任につき同意を求めることについて
- 発議第1号 足羽川ダム対策特別委員会の設置および足羽川ダム対策特別委員会委員の選任について
- 発議第2号 広報特別委員会の設置および広報特別委員会委員の選任について

6月定例会 (令和5年6月20日~23日開催)

- 議案第36号 専決処分の承認を求めることについて(専決第5号 池田町一般会計補正予算(第2号))
- 議案第37号 令和5年度 池田町一般会計補正予算(第3号)
- 議案第38号 令和5年度 池田町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 議案第39号 令和5年度 池田町簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第40号 令和5年度 池田町下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 議案第41号 池田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第42号 池田町印鑑条例の一部改正について
- 請願第1号 溪流温泉 冠荘の入浴料を町民が利用しやすい料金にすることを求めることについて請願

6月定例会請願第1号以外は、全議員賛成により可決されました。

溪流温泉 冠荘

入浴料を町民が利用し易い

料金にすることを求める請願が提出された

文教経済常任委員会で審議された結果、請願の趣旨については十分理解できるものであり、今後の物価の動向や利用状況に注視していくべきと考えます。しかし、本請願が求める入浴料の値引き措置を企業に求めることは困難であり、3月定例会で料金設定を決議した経過を踏まえ、趣旨は認め、措置は不採択とする「趣旨採択」として、委員会では可決し、本会議に報告されました。

本会議での討論

反対討論 丸石 純一 議員

本請願の委員長報告について、反対の立場で討論を行います。冠荘の建て替え、移動等の話は計画に上がったものの、具体的に場所や金額といった詳細が示されておらず、老朽化してきた冠温泉について入浴料の値上げについては、まずはしっかりと計画を出すことが必要だと考えます。また3月定例会での条例改正と今回の値上げについては、混合されており、値上げの意味合いが全く違います。本請願を通して、今からでも町民割引や高齢者割引を考えていただきたいと思います。

賛成討論 佐野 和彦 議員

本請願の委員長報告について、賛成の立場で討論を行います。この請願は令和5年3月の定例議会において、溪流温泉 冠荘の入浴料の条例改正に関連し、町民への割引制度の導入を請願されたものです。我々議会において、燃料費高騰などにより、入浴料改正の条例を真摯に協議し可決したものであり、請願者の思いは十分理解できますが、割引制度の導入は、3月議会での決議の真意に逆行すること、また現在でも利用回数券や団体割引があること、町民の方の利用促進の仕組みは、他の施設でも考える必要があることから「趣旨採択」が妥当であると判断いたします。

■ 委員長報告に対する賛否一覧 【賛成】佐野、松井、富田、岡村 【反対】宇野邦、丸石、清水

編集後記

今回の議会だよりは「見やすさ、読みやすさ」を意識して作成にあたりました。一度に進められる内容は少ないですが、皆さんのご意見を参考にしながら、より良い町議会だよりによりに双方向でやり取りできる場を作れたらと考えています。(清水龍司)



議会広報特別委員会

- | | |
|-------|-------|
| 委員長 | 宇野 邦弘 |
| 副委員長 | 清水 龍司 |
| 委員 | 岡村 祐 |
| 委員 | 富田 重弘 |
| 委員 | 丸石 純一 |
| 発行責任者 | |
| 議長 | 宇野 一正 |